



枕崎市 地域学校協働活動だより

令和2年10月号

発行
枕崎市教育委員会
生涯学習課
枕崎市中央町 184 番地
TEL0993-72-0170

「地域学校協働活動だより」は、年に3回、お知らせ版とし込みで市内全世帯に回覧しますが、毎月「号外」を作成して全小中学校などに配布して、そのときどきの活動をお知らせすることにしています。

今回は、9月に行われた学校応援団ボランティアについて紹介したいと思います。

～運動会で披露の「枕崎音頭」を指導～ 枕崎小学校

枕崎小学校では毎年の運動会で「枕崎音頭」を全校生徒で踊るのが恒例ですが、今年は密を避けるために4年生の2クラスが代表して踊ることになり、ほかの学年からも注目されるので、美しく踊りたいということで、福元美智子さんと松野下弘子さんの指導で9月27日の運動会の前に2回練習を行いました。

1回目の練習は9月2日でしたが、曲に合わせた練習では、子供たちが1回ごとに少しずつ上手になっていくのが実感できたようで、授業終了のチャイムが鳴ってからも、「もう1回」とアンコールの声が出るほど盛り上がりました。

2回目の練習は9月12日でしたが、練習前に4年担任の先生から「子供たちは踊りの先生に踊りが上手になったところを見せたいと、昼休みにも自主練をしてたんですよ」と驚きの報告が…。

練習を始めると、10日前とは比べ物にならないくらい上手になっていて、踊りの先生たちもビックリ。この日は踊る時の細かい手や指先の動き、足運びなど、ワンランク上の指導をしていました。

休憩中にも「手の動きをどうすれば良いですか」と、踊りの先生に直接聞きに来る男の子がいたりして、子供たちのやる気と熱気が伝わってきました。

例年の運動会には来賓の方を招待していますが、今年はコロナの関係で外部の方は見られないとのことでした。しかし、子供たちの踊りを先生方に見てもらいたいとの学校側の思いから、お二人の踊りの先生に運動会で見てもらえるようになりました。

運動会では指先、足先まで綺麗に揃った踊りを披露して、みんなの拍手喝采を浴びていました。



学校応援団ボランティア 募集中！ 詳しくは 生涯学習課まで TEL72-0170

～家庭科でミシンの使い方を指導～ 桜山小学校

桜山小学校では9月29日と9月30日に、「たけのこ」と「家庭倫理の会」の方々が、6年生と5年生にミシンの使い方の指導を行いました。

2日とも5名のボランティアの方々に来ていただき、クラスを5つに班分けをして一人ずつ指導に入ってもらいました。

5年生、6年生、それぞれ2時間の授業でしたが、ボランティアの方々に教えてもらいながら、6年生はトートバッグを、5年生はぞうきんを、ミシンを使って上手に仕上げていました。

5年生は初めてのミシン操作という児童も多でしたが、慎重にミシンに糸をセットしてスピードを上げずに、そろりそろりとぞうきんを縫っていました。

6年生はミシンの経験があったので、上手にトートバッグを縫い上げていました。



～毛筆で「楷書」と「行書」を指導～ 立神中学校

立神中学校では9月10日、11日の両日、1年生から3年生までの3クラスで、毛筆の書写指導を学校ボランティアの楠佐和子さんが行いました。

1年生は「天地」を楷書で、2年生は「初志」、3年生は「創造」をそれぞれ行書で書く授業でした。

楷書では「点画の筆使いを意識して書く」、行書では「点画の連続と省略を理解して書く」などの説明を行い、その後

生徒たちの中に入って一人ずつ手を取ったりして、毛筆で書く時に気を付ける点の指導を行いました。

各学年50分の授業でしたが、生徒たちは楠さんが説明した注意点に気を付けながら、時間一杯まで何枚も作品を仕上げていました。

国語科担任の先生は「生徒たちは、自分が指導した時は何枚か書いたらすぐに片付けに入るのに、外部から書道の先生が来られると熱心に時間ぎりぎりまで書いている。」と、学校応援団効果に驚いていました。



学校応援団の ちょっといい話

学校応援団ボランティアは、地域の方が外部講師として子供たちに様々な事を教えるわけですが、外部からの講師を学校に迎えることで、子供たちには大きな刺激になるようです。

特に、今回のように子供たちが生き生きと目を輝かせて取り組む姿を見ると、学校と地域のボランティアの方々をつなぐことができ良かったと思います。

踊り、ミシン、書写を教えてくれた講師の先生方、受け入れてくれた学校の先生方、そして熱心に取り組んでくれた子供たちにお礼を述べさせていただきます。